

学術雑誌へのオープンアクセスの大規模な実現に関する関心の表明（仮訳）

「自然・人文科学における知識へのオープンアクセスに関するベルリン宣言」とこれまでに達成された進歩を基に、我々は学術研究論文への自由なオンラインアクセスと制限のない利用と再利用が大規模に実現されることを追求している。

我々は、新たなOA出版プラットフォーム、アーカイブ、リポジトリの開発など、オープンアクセス（OA）を実現するさまざまな方法を評価し、支持する。学術雑誌の出版では、OAは相当量となっており、また、増加している。しかしながら、ほとんどの雑誌は、いまだにアクセス、コスト効率性、透明性、および利用条件の面で固有の欠陥がある購読ビジネスモデルに基づいている。

OAのすべての恩恵を得、スムーズで迅速、かつ学術指向の移行を可能とするには、既存の学術雑誌の全体は、購読モデルからオープンアクセスへ転換する必要がある。最近の開発および研究は、この移行プロセスは現在利用可能な資源の範囲内で実現できることを示している。

この声明では、我々は学術雑誌のOA移行のための国際的なイニシアティブの確立に私たちの関心を表明し、次の主要な側面について合意する：

- ー 我々は、コミュニティ固有の選択に応じて、今日の学術雑誌の大部分を購読モデルからOA出版へ転換することを目指している。同時に、我々は新規かつ改良されたOA出版を継続的に支援する。
- ー 我々は、現在のところジャーナル購読に支払われている資源を持続可能なOAビジネスモデルを転換するための資金に転換することにより、この変換プロセスを追求していく。その結果、我々は基本となるキャッシュフローを再編成し、費用と可能な節減に関して透明性を確立し、過度の出版障壁を回避するための機構を導入していく。
- ー 我々は、学術出版にかかわるすべての関係者、とりわけ、大学、研究機関、資金提供者、図書館および出版社に学問と社会全体の利益のために迅速かつ効率的な移行に協力するよう要請する。

変換プロセスのための具体的な手順とマイルストーンは、このイニシアティブでさらに開発されるロードマップで概説されるものとする。我々はイニシアティブを、学術コミュニケーションと研究評価の主要な改善につながる学術出版システムのより深い進化の一要素と考えている。

参考文献：

Berlin Declaration (2003): <http://openaccess.mpg.de/Berlin-Declaration>
Berlin Mission Statement (2013): http://openaccess.mpg.de/mission-statement_en
MPDL White Paper (2015): <http://dx.doi.org/10.17617/1.3>